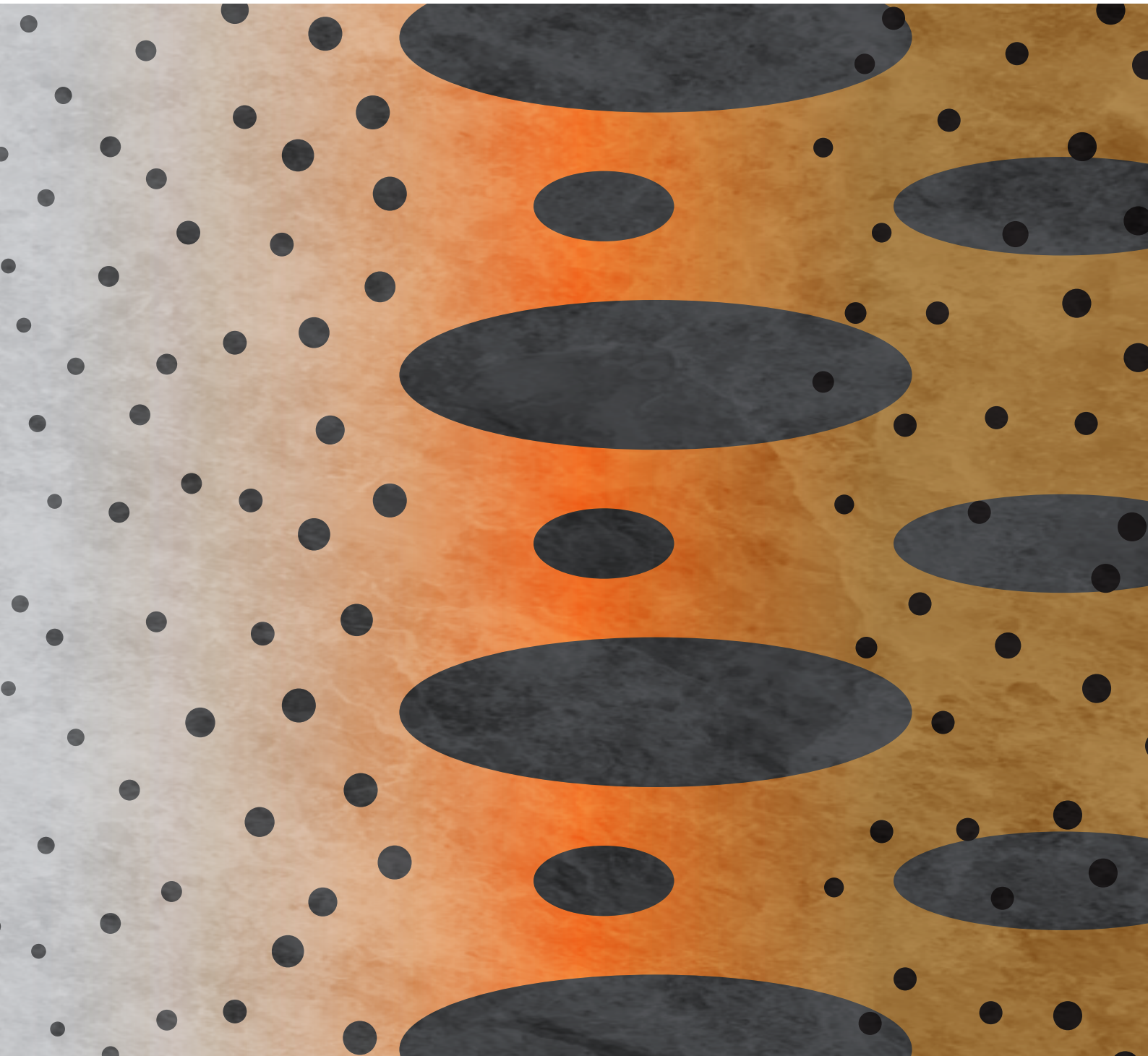


Fishway

NPO法人 北海道魚道研究会 会報

no.19
2024
AUTUMN



特集

通常総会開催

日高地区・道央地区・道南地区

魚道清掃実施



自然をみつめ、命をつなぐ。
Hokkaido fishway research meeting



NPO法人 北海道魚道研究会

設立趣意書

「戦争の世紀」とも言われ産業革新、技術革新が急激なスピードで展開された 20 世紀が過ぎ去り、現在、我々が生きている 21 世紀は「環境の世紀」と言われています。日本の都道府県の中で自然が残っているとされる北海道においても、つい 30~40 年ほど前まで豊かだった自然は、人々の生活が向上することと反比例するように失われてきています。

私達は、社会・生活環境の整備と自然環境の調和を念頭に置き、これまで携わってきた河川を中心とした構造物の設計や施工の経験を踏まえ、河川環境の保全と回復のための活動を通じ、「環境の世紀」の社会のあり方を考えていこうと思っております。

私達は、この活動のベースを「魚道」に置き、魚道から提起される種々の課題「河川生物の生態」、「周辺環境」、「構造物の設計・改良」、「維持管理」などを通して活動目的である「河川環境の保全と回復」を図ることとしております。

また、目的達成のためには、一部の技術者だけでなく、地域住民、河川を利活用する関係者など多くの方々とともに意見交換し、行動していくことが必要だと考えております。

そのために、今般、「特定非営利活動法人 北海道魚道研究会」を設立し、自然と人間の調和のとれた心豊かな地域社会づくりを目指すものであります。

目 的

魚の心がわかる魚道づくりをテーマに魚道についての研究・啓蒙・ボランティアによる維持管理を行い、自然環境の回復に寄与する。

特定非営利活動

- (1) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (2) 環境の保全を図る活動
- (3) 子どもの健全育成を図る活動
- (4) 科学技術の振興を図る活動
- (5) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動

特定非営利活動に係る事業

- (1) 河川環境の保全・回復を図る事業
- (2) 魚道に関する研究及び技術の開発・振興に関する事業
- (3) 魚道の維持管理に関わる事業
- (4) 河川に生息する水棲生物の調査・研究に関わる事業



気候変動と野生サケ復活

NPO法人 北海道魚道研究会

理事長 奈良 哲男

道南の海ではイカが激減し、ブリやサバといった暖かい海の魚が水揚げされています。最近ではフグが水揚げされているとニュースで聞きました。気候変動による生態系の変化は、私たちの生活に影響を及ぼしていることを実感します。

昨年の定期講演会で、北海道の大切な水産資源サケが大きく減少し、体も小さくなっているとの報告が、道総研^{※1}さけます管理グループの卜部研究主幹からありました。お話の中で、サケを増やし、体の小型化を防ぐための一つの方策として、人工ふ化だけに頼らず、河川で自然産卵由来の個体を増やしていくことが有効となるということをお聞きしました。

一方、気候変動に伴って発生する大雨や台風の大型化によって、多くの災害が発生し被害も増大しています。「今までに経験したことが無い記録的な大雨」と、今年は何度も耳にしています。それは、降雨量の記録が大きく更新されているということです。河川整備水準の目標とする洪水流量がどんどん大きくなっており、新たな整備や管理の見直しが必要になってくるということでもあります。

今年の定期講演会は、昨年に続き卜部研究主幹から減少したサケをどうやって復活させていくのかについてお話いただき、さらに北海道大学大学院の中村名誉教授には、喫緊の課題である気候変動に対応した新たな河川管理と治水対策、そして治水とトレードオフに見えるサケの自然産卵環境をどのように創出するのかをお聞きしたいと思っております。北海道魚道研究会としては、そこに関わってくる新たな魚道の整備や維持管理の方法など、この講演会から多くを学びたいと思います。今からとても楽しみです。

来年、北海道魚道研究会は20周年を迎えます。これからも道内各地の会員はもとより、関係部署の皆様、さらには地域の皆様と一緒に河川環境の保全と維持活動を行ってまいりますので、どうぞご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

※1 道総研：地方独立行政法人北海道立総合研究機構

CONTENTS

- 02 令和6年度通常総会開催報告
自然産卵による水産資源の復活に、我々の経験が役立つ時に
- 06 活動報告1 日高地区魚道清掃ボランティアを実施しました
- 09 活動報告2 道央地区魚道改善ボランティア
- 14 活動報告3 川の生き物観察会を開催しました
- 20 活動報告4 道南地区魚道清掃ボランティアを実施し、植樹も行いました
- 24 NPO法人 北海道魚道研究会 会員名簿
- 26 当会では、会員を募集しています!

自然産卵による 水産資源の復活に、 我々の経験が役立つ時に

令和六年度通常総会
特定非営利活動法人北海道魚道研究会

令和6年6月6日（木）午後4時から、函館市の花びしホテルにて
令和6年度通常総会が開催されました。

「サケマス自然再生」をテーマに

はじめに奈良哲男理事長から、昨年の定期講演会を受けて、今年からサケマス自然再生を活動テーマにしていくこと、自然産卵による水産資源の復活という課題に対し、当研究会がこれまで学びながら準備してきたことが役に立つ時がきたと感じていること、北海道だけでなく、日本全国で貴重な水産資源を存続させるために多方面で協力して活動することが求められていることが述べられ、「今年度も会員の皆様のご協力とご理解をいただき、活動を活発化させていきたいと思っております」と、挨拶を締めくくりました。

その後、会員総数94名のうち出席者37名、署名委任51名の計88名で通常総会の成立が確認され、議事に入りました。それぞれ議案の説明後、質疑や異議はなく、いずれも全会一致で議案は承認されました。

また、議案第6号では、中島克彦理事の辞任申し出と、後任に高崎悟氏が推薦され、承認後に高崎新理事から挨拶と抱負が述べられました。

【審議事項】

- 議案第1号 令和5年度事業報告
- 議案第2号 令和5年度収支決算報告
- 議案第3号 監査報告
- 議案第4号 令和6年度事業計画（案）
- 議案第5号 令和6年度収支予算（案）
- 議案第6号 役員欠員補充



奈良理事長



司会 渡邊事務局



退任された中島前理事



新任の高崎理事

【第1号議案】

令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

特定非営利活動法人 北海道魚道研究会

1. 事業の成果

今年度は、予定していた事業のほとんどを実施することができました。継続的に活動している魚道データベースシステムの改良構築に関しては、まだ100%の完成度ではないとしつつも、魚道管理者へ利用を促し魚道管理の備前を目指す上で、第一歩を歩み始めた状況です。また、定期公演会での魚道データベースお披露目や、デザインや内容を新しくした会報誌「Fishway」の増刷と年2回の発行でより多くの方にアピール出来ました。その結果、個人会員の入会や問い合わせなどが多くなり、研究会、そして魚道施設とそれに関連する活動への認知度も高まってきました。

2. 事業の実施に関する事項

1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	A 当該事業の実施日 B 当該事業の実施場所 C その他	D 受益対象者の範囲 E 人数	備考
(1) 河川環境の保全・回復を図る事業	【カワガキ育成1川の生き物勉強会】 河川に生息している水棲生物の学習と周辺域の自然観察会	A 令和5年8月6日 B 函館市川汲川 C -	D 見込と観 E 47名	
(2) 魚道に関する研究および技術の開発・振興に関する事業	【魚道のデータベース構築】 北海道内に設置された魚道情報のデータベース化の作業 ・webを利用したGISを利用したデータベースシステムの構築と管理 ・魚道管理技術の開発と管理者との連携への取り組み研究 ホームページ上でのデータベースシステム運用の維持管理及び更新	A 1回 令和6年1月 B 札幌市又はWEB C -	D 会員、会員企業職員 E 10名	
(3) 魚道の維持管理に関する事業	【魚道清掃ボランティア】 魚道機能が低下している箇所の手入れ活動	A 1) 日高：令和5年7月19日 2) 道央：令和5年7月23日 3) 道南：令和5年9月9日 B 1) 新冠町岩清水 沼ヶアツツ川 2) 札幌市 左衛門川、豊沢川魚道 3) 函館市 川汲川魚道 C -	D 会員、行政職員、一般市民 E 1) 38名 2) 64名 3) 66名	
	【魚道管理者との情報交換会】 管理者から：魚道事業の推移、パトロール・維持管理の状況説明 当会から：国の構築状況と課題、次年度の事業計画を説明	A 令和6年2月22日 B 札幌市 ホテルポルスター札幌 C -	D 魚道管理者 E 23名	
(4) 河川に生息する水棲生物の調査・研究に関する事業	【定期講演会】 テーマ：気候変動とサケマス自然再生へ 「定期講演会」 独立地方行政法人 北海道立総合研究機構 水産試験場 さけます管理グループ 研究主幹 ト部 浩一 斜里町産業部水産林務課 課長 森 高志	A 令和5年10月6日 B ANAクラウンプラザホテル札幌 C -	D 会員、行政職員、一般市民 E 122名	

2) その他の事業

「北海道魚道研究会(第17号)」	令和5年10月発行	1000部
「北海道魚道研究会(第18号)」	令和6年6月発行	1200部

【第4号議案】

令和6年度 事業計画書(案)

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

特定非営利活動法人 北海道魚道研究会

河川中の人口構造物(堰堤、砂防ダム等)に設置されている魚道の効果の有無は、その河川の水棲生物の生息・生態に影響を与えるのみならず、河川周辺域の生物の多様性ひいては環境にも影響を及ぼすと考えています。こうした認識のもと、以下の活動方針に沿って事業を実施することで河川環境の保全と回復並びに地域振興に寄与します。

事業の実施に関する事項

1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	A 当該事業の実施日 B 当該事業の実施場所 C その他	D 受益対象者の範囲 E 人数	備考
(1) 河川環境の保全・回復を図る事業	【カワガキ育成1川の生き物勉強会】 河川に生息している水棲生物の学習と周辺域の自然観察会	A 令和6年8月4日 B 函館市川汲川 C -	D 見込と観 E 40名	
(2) 魚道に関する研究および技術の開発・振興に関する事業	【魚道のデータベース構築】 北海道内に設置された魚道の位置・構造・状況等の調査、データベース化 魚道データベース GIS システム構築 ホームページの維持管理及び更新	A 1回 令和6年5月中旬 B web C - A 2回 令和6年9月中旬 B web C - A 3回 令和7年1月下旬 B web C -	D 会員、会員企業職員 E 15名 D 会員、会員企業職員 E 15名	
(3) 魚道の維持管理に関する事業	【魚道清掃ボランティア】 魚道機能が低下している箇所の手入れ活動	A 日高地区令和6年7月 道央地区令和6年7月 道南地区令和6年7月 B 道内3地区 C -	D 会員、行政職員、一般市民 E 日高地区 40名 道央地区 60名 道南地区 60名	
	【魚道管理者との情報交換会】 管理者から：魚道事業の推移、パトロール・維持管理の状況説明 当会から：DBの構築状況と課題、次年度の事業計画を説明	A 令和7年2月 B 札幌市 C -	D 魚道管理者 E 30名	
(4) 河川に生息する水棲生物の調査・研究に関する事業	【定期講演会】 テーマ：(仮称)野生サケ復活！ ～自然破壊が魚業に与える影響とそれを可能にする河川環境とは～ ～講演～ 北海道大学大学院農学研究院 名誉教授 中村太士 独立地方行政法人北海道立総合研究機構 さけます管理グループ 研究主幹 ト部浩一	A 令和6年10月10日 B ANAクラウンプラザホテル札幌 C -	D 会員、行政職員、一般市民 E 200名	

2) その他の事業

「北海道魚道研究会(第19号・第20号)」	発行1200部	年2回	令和6年10月、令和7年4月	発行予定
-----------------------	---------	-----	----------------	------

議案第1号令和5年度事業報告及び議案第4号令和6年度事業計画(案)

【第6号議案】

令和6年度役員名簿

特定非営利活動法人 北海道魚道研究会

役名	氏名	所属	備考
理事長	奈良 哲男	(株)エジソンブレイン	
副理事長	岸本 真一	岸本産業(株)	
〃	中塚 卓朗	中塚建設(株)	
〃	戸沼 淳	戸沼岩崎建設(株)	
理事	橋本 真一	(株)北海道技術コンサルタント	
〃	柏谷 匡胤	横関建設工業(株)	
〃	三宅 正浩	山洋建設(株)	
〃	幌村 司	幌村建設(株)	
〃	小林 誠二	(株)小林建設	
〃	布村 重樹	(株)ノース技研	
〃	前田 克史	會澤高圧コンクリート(株)	
〃	田中 努	野外科学(株)	
〃	小山 重芳	(株)日興ジオテック	
〃	千葉 和夫	北海道農林土木コンサルタント(株)	
〃	熊谷 操	防災地質工業(株)	
〃	高崎 悟	北王コンサルタント(株)	(新任)
〃	中島 克彦	北王コンサルタント(株)	(退任)
監事	今川 亮司	防災地質工業(株)	
〃	滝野 修平	パブリックコンサルタント(株)	

令和6年6月 現在

令和6年度 役員名簿



(上から) 会場の様子、令和6年度の三役

通常総会後、恒例の意見交換会を開催



乾杯の合図は中塚副理事長





山洋建設(株)藤倉常務



松谷建設(株)札幌支店
阿部島専務執行役員



退任された中島前理事



三好建設工業(株)三好社長



中締めは幌村理事



市電に乗って 二次会、五稜郭へ

1

活動報告

日高地区魚道清掃 ボランティアを実施しました

令和6年7月26日(金)午後1時から、
新冠郡新冠町字岩清水・ポキアップ川の谷止工魚道で、
清掃ボランティア活動を行いました。



日高振興局長や新冠町長も参加し、総勢50名

第14回となった日高地区魚道清掃ボランティアは、高見芳彦日高振興局長をはじめ同振興局から19名、鳴海修司新冠町長のほか同町職員2名も参加し、総勢50名での清掃活動となりました。

はじめに、一般社団法人北海道森林土木建設業協会日高支部長である当会の幌村司理事から、多くの皆様に参加いただいたことへのお礼が述べられ、さらに「日高管内には109カ所の魚道が設置されています。その魚道施設の管理者は、北海道開発局、森林管理署、北海道の河川、砂防、農業、水産、林務、そして町村と多岐にわたりますが、このボランティア活動を通して維持管理の大切さを皆さんで共有し、継続してまいりたい」と挨拶がありました。

その後、2時間ほどの清掃活動を終え、最後に函館から駆け付けた当会の奈良理事長から、「この魚道を通してサクラマスが産卵場所に無事にたどり着き、産卵できる魚の数が一匹でも多くこの魚道を通してしてくれるだけでも、多くの稚魚が生まれ、この川で生命が繋がっていくことを皆さんで想像しながら、魚道清掃ボランティアを終了したいと思います」という挨拶で閉会となりました。







(左から) 開会の挨拶をする幌村理事、その後、高見振興局長と鳴海新冠町長からも挨拶をいただいた。右は閉会の挨拶をする奈良理事長



●第14回 日高地区魚道清掃ボランティア 参加者

No	所属	出席者氏名	No	所属	出席者氏名	No	所属	出席者氏名
1	(一社)北海道森林土木建設業協会 / NPO法人 北海道魚道研究会	幌村 司	16	ケイセイマサキ建設(株)	林 亮	34	日高振興局	土井 剛
			17		永平 洋人			35
2	(一社)北海道森林土木建設業協会	神馬 昭男	18	賀集志賀建設(株)	久保 敏夫	36		青柳 剛
			19	田湯タナカ建設(株)	佐藤 政勝	37		鐘下 敬介
3	NPO法人 北海道魚道研究会	奈良 哲男	20	(株)出口組	種市 真広	38		斎藤有澄真
4	新冠町	鳴海 修司	21	幌村建設(株)	南 雅彦	39		竹下 縄
5		鷹背 寧	22	酒井建設(株)	山田 尚	40		関本 伊吹
6		山田 佳樹	23		高橋 博	41		高橋 克幸
7	(株)五十嵐工業	菅野 秀明	24	(株)手塚組	田名部 正	42		山崎 正寛
8		志麻 貢一	25		村下 哲央	43		中村 大志
9	(株)小林組	小林 康樹	26	(株)津田組	津田 一彦	44		中濱 慶太
10		中本 淳	27	池田建設(株)	真壁 俊輔	45		山根 大輝
11	(株)平村建設	津田 匠	28		後藤 蓮	46		西田 智博
12	日新建設(株)	林 亮磨	29	(株)南組	加藤 哲二	47		高田 雄成
13	(株)磯田組	十役 智徳	30	北森建日高支部	本間 正寿	48		笠木 健太
14		太田 淳二	31		清水 未来	49		小杉 海星
15	登建設工業(株)	登 孝志	32	日高振興局	高見 芳彦	50		鳴海 誠二
			33		村下 雅裕			

2

活動報告

道央地区魚道改善ボランティア

令和6年7月28日(日)、午前9時30分に札幌市西区福井の五天山公園臨時駐車場に集合し、盤溪川の魚道2基の改善(昨年実施したワークショップで挙げた改善案)を実施する予定でしたが、悪天候のため、予定を変更しての活動となりました。



予定を変更し、増水状況と平水時の違いを観察

前日夜半から降り始めた雨は、当日の朝までに70mm(札幌アメダス)となり、現地は濁水となってしまいました。

そこで予定していた改善案の実施は中止し、増水している状況、平水時との水理条件の違いなどを皆で確認することとなりました。



開会のあいさつをする奈良理事長(左)、札幌建設管理部事業室事業課の松本事業課長(左下)、進行役を務めた(株)北海道技術コンサルタントの渡邊さん



雨の中をラジオ体操

会員各位

令和6年6月吉日
特定非営利活動法人
北海道魚道研究会
理事長 奈良聖樹

改善
魚道改善ボランティア活動の開催について

初夏を思わせる陽気になりました。
会員の皆様におかれましてはますますご活躍のこととお慶び申し上げます。
さて、道央地区における第14回目の「魚道種別改善ボランティア」並びにごみ拾い下記の下記の通り開催致しますので、ご参加をよろしくお願い致します。
昨年の「復活しないためにはどうするか?」という現地ワークショップを踏まえ、今年は、魚道の「改善」を行う予定です。そして、昼食を食べながら、更なる改善や今後の取組みについて意見交換会(懇話会)を実施します。

記

日 時： 令和6年7月28日(日曜日) 9:30集合
9:30~9:45 あいさつ・ラジオ体操等
9:45~10:00 昨年の現地ワークショップの振り返りと
今年の魚道改善の作業内容の確認
10:00~12:00 現地移動・魚道の改善の実施/ごみ拾い
12:00~12:30 作業終了・懇話会移動
12:30~14:00 意見交換会(お弁当をご用意します)
～魚道の更なる改善や今後の取組みについて～

集合場所：札幌市西区福井 五天山公園臨時駐車場(札幌方面から来ると左側の駐車場)
宿務場所：盤溪川の魚道2基
持ちもの：ヘルメット・帽子、雨具、手袋、火ばきみ(ごみ拾いの方)

参加申込み：Google フォーム：https://forms.gle/a6AN6ddQDC3PQHA
Mail:watanabe@degi.co.jp
FAX:011-753-6824
会員名(所属)と氏名をお知らせください。

※参加申し込み期限は、7月19日(金曜日)
※参加者には、参加証明書(CPD単位2.5)を発行致します。
※雨天決行(雨天の場合は、現地でワークショップを開催します)

【問い合わせ先】〒065-0043
札幌市東区苗穂町4丁目2-8
株式会社 北海道技術コンサルタント 渡辺孝三
TEL:011-753-5582,mail:watanabe@degi.co.jp

盤溪川の魚道整備や遡上魚類状況などを(株)サッポロ・エンジニアーズの後藤聡夫さんが説明



「現場の科学」を実践するために参加者で現地を確認





2号落差工 魚道の状況



3号落差工 魚道の状況

昨年(2023年7月23日)実施したワークショップ「魚道を清掃しないためにはどうする?」で整理した対策案

- ・上流側に木杭を設置し、流木を補足する。
- ・木杭の設置により土砂の堆積状況も変化することが考えられるため、モニタリングを行う。
- ・木杭の場所は、補足した流木除去のため、維持管理しやすいようアクセスしやすい場所、メンテナンスしやすい場所を選定する。



閉会挨拶と資材の紹介(田中理事)

最後に田中努理事から、対策用に①直径9cm、長さ100cmの木杭55本、②直径6cm、長さ90cmの鉄杭10本(穴開け用)、③潜孔をふさぐ板、魚道出口(流入口)をふさぐ板という資材の紹介があり、「生憎の雨でしたが、増水時の現地状況をみなさんと共有できたことは、来年の対策案実施に良い経験になったと思います。どのようなプランが良策となるか? 皆さん1年かけて考えてみてください」との挨拶で閉会となりました。





重作業を想定した大盛弁当を配って解散。
来年は木杭を打ってモリモリ食べましょう。
お疲れ様でした!



●第14回 道央地区魚道改善ボランティア 参加者

No	所属	出席者氏名	No	所属	出席者氏名	No	所属	出席者氏名		
1	北海道建設部	中澤 由典	24	株式会社サッポロ・	鈴木 桐花	48	北海道キング設計株式会社	三國 紀行		
2	土木局河川砂防課	星井 篤郎	25	エンジニアーズ	後藤 聡夫	49	株式会社北海道森林土木	細川 祐治		
3	札幌建設管理部 事業室事業課	松本 範之	26		野沢 哲哉	50	コンサルタント	吉岡 拓哉		
4		横納 智裕	27		熊谷 元	51		平原 綸世		
5		築田 啓裕	28		野崎 邦彦	52	松谷建設株式会社	阿部島啓人		
6		板谷 至基	29		櫻下 史宜	53	明治コンサルタント株式会社	有賀 誠		
7		佐藤 謹光	30		稲田 行道	54		吉田 遼人		
8		根布谷有美	31		川越 良祐	55		岩崎 幹広		
9		會澤高圧コンクリート	前田 克吏		32		行澤 陸	56		辻本こずえ
10		株式会社	小林 将馬		33	内外エンジニアリング	藤原 弘昭	57	野外科学株式会社	田中 努
11	株式会社エジソンブレイン	奈良 哲男	34	北海道株式会社	久保山 剛	58		井上 剛		
12		渡邊 拓也	35		貫名 将海	59		小銭 悟史		
13	HRS株式会社	磯山 美幸	36		渡邊 裕介	60		吉川 諒		
14		境井 雅章	37	日特建設株式会社札幌支店	白川 昭雄	61		飯沼 弘一		
15		坪江 桂吾	38	北海道農林土木	千葉 和夫	62		桑原 郁美		
16	株式会社エコテック	坂元 直人	39	コンサルタント株式会社	豊田 康弘	63	横関建設工業株式会社	柏谷 匡胤		
17		田宮 敏	40	株式会社ノース技研札幌支店	沼田 寛	64	和光技研株式会社	宮本 大		
18	扇コンサル株式会社	澤川 朋之	41	株式会社不動テトラ北海道支店	沼田 昭則	65		佐々木美一		
19	共和コンクリート工業株式会社	八町 裕浩	42	防災地質工業株式会社	熊谷 操	66		北村 明		
20	国土防災技術北海道株式会社	浅野 誠之	43	株式会社北海道技術	中山 仁		札幌若力会			
21		大和 謙太	44	コンサルタント	渡邊 恵三	67	(明成コンサルタント株式会社)	宮本 鉄也		
22		山口 秀美	45		千葉 悠子	68	(北成コンサルタント株式会社)	八丁 大史		
23		飯田宇之麿	46		末岡 拓也	69	(株式会社北海道技術	橋本 有悟		
			47		久富悠一朗		コンサルタント)			



「見試(みため)し」

北海道魚道研究会 理事
田中 努

近代以前の河川工事では、施工内容が河川の流れにどのように影響するのか、見極めながら段階的に工事をすすめるという方法が取られることがあり、こうした方法を指して「見試し」という言葉が使われてきました。この言葉は古くは江戸時代に遡り、「例えば新たに用水を取るために既存用水と利害が対立するときなどは、数年様子を見ながら試しにやってみて、不都合があれば軌道修正していくという方法が採られた。農民間で選ばれた名主などを中心に、対話で折り合いをつけていった」などの記載も見られます。試行錯誤を経るという点では、今風に言えばトライ・アンド・エラーやPDCAという言葉になるのかもしれませんが、そこには、取り巻く人々の“心情”“思惑”をも包括する奥行きのある言葉であると感じます。

昨年から取り組み始めた「魚道改善ボランティア」はまさに「見試し」という言葉がピッタリです。河道内に木杭を打ち、流木を捉え、流れを変化させ、魚道の機能を改善する。年代、経歴、立場、役割も様々な参加者みなさんの頭の中もまた様々でしょう。実際のプラン実行も一筋縄ではいかないことが容易に想像されます。木杭を打つ→流木が溜まる→土砂堆積状況が変わる→流れが変わる→流木は何処へ?…

さあ、みなさん来年こそは、増水時の流況も頭に描き、木杭を打ち、先人の知恵に倣って「見試し」ていきましよう！



川の生き物観察会を開催しました

令和6年8月4日(日)午後9時30分から、
函館市川汲公園で川の生き物観察会が開催されました。



AM6:00 お魚準備班が集合

水槽に入れる魚を準備するため、3名の釣り名人(?)が集合。傷ついていない綺麗な魚を捕獲するため、魚が飲み込んでしまわないように疑似餌を使うフライフィッシングで、イワナ・ヤマメ・ニジマスを毎年用意しています。今年も2時間半の間に必死で釣り上げました!

AM9:00 少しずつ参加者が集まり始めました

スタッフは、到着した家族と一緒に子どものサイズを確認しながらライフジャケットの着用をお願いしました。川に入る参加者全員にライフジャケットを着用してもらいました。

AM9:30 いよいよ開会!



開会宣言をする渡邊事務局(右)

進行役の渡邊事務局から開会宣言が発せられ、「川の生き物観察会」がスタートしました。

最初に奈良理事長から「少し雨交じりの天気になる予報で、雨の降り方には十分に注意しながらやっていきますのでよろしくお願いします。また、雨の日は河原の石や斜面が滑りやすくなっているので、十分注意をしましょう」という注意喚起とともに、昨年までは「カワガキ育成、川の生き物勉強会」というタイトルでしたが、今年からは子どもたちにもわかりやすいように「川の生き物観察会」と名称を変更したこと、それでも毎年



エスビーシー-ほうしん ぽっかいどうぎょうけんきょうかい
NPO法人 北海道魚道研究会
かわ い ものかんさつかい
川の生き物観察会

日時
令和6年(2024)8月4日(日曜日)
午前9時30分~昼12時30分

場所
はこだてしゅうくみこうえん
函館市川汲公園(旧南茅部町)

子供も大人も参加料:300円(傷害保険代)
保護者同伴。対象:小学校1年生~大人

【プログラム】
9:30 はじめのあいさつ
川遊びの「きまり」
9:40 川の中にはどんな生き物がいるの?
10:10 さがしてみよう、つかまえてみよう!!
11:10 ささ舟で競争だ!(景品あり)
12:10 油山ダムってなに?魚道ってなに?
12:30 おわりのあいさつ
※川の中を歩くため、魚道は禁止!
かかとベルトの付いたサンダルや、ぬれてもいいスノーカー、
雨靴など、各自用意をお願いします
※ライフジャケットは主催者側で用意します

主催:NPO法人 北海道魚道研究会
参加申し込みは、裏面用紙に記入のうえFAXをお願いします。
※必ず!道標先を記入してください。荒天など中止の場合、ご連絡しますのでご協力をお願いします。

案内チラシ

皆さんに喜んでいただいている催しは今年も変わらず行うことが伝えられ、「このイベントが終わるころには、たくさんの体験と知識が胸のなかや頭のなかに残ってくれると思います。夏休みの楽しい思い出の一日になるよう、スタッフ一同、いっしょに楽しんでいきたいと思います。また、仕事の合間に今日の準備をしてくれたスタッフの皆さんにこの場をお借りし、感謝を申し上げます」という挨拶がありました。



奈良理事長の開会挨拶

AM9：33 川遊びの「きまり」(注意事項)説明

その後、渡邊事務局から、安全に川遊びを楽しむための注意事項が説明されました。

AM9：35 生き物探しをする前に……

川に入って生き物探しをする前に、川のなかにどんな生き物がいるのかを大浜隊長や米谷先生(エジソブレイン業務部長)から学びました。また、お魚準備班が早朝から捕獲した水槽の魚や、川のなかの石に付いている虫の説明もありました。



AM10：00 川の生き物たちを 見つけてみよう！つかまえてみよう！

スタッフ全員でアシストしながら、川のなかに入って、川の生き物たちを探したり、つかまえました。





**AM10:30 川のなかの施設、
山の斜面や木を守る施設のことも学ぼう！**

大浜隊長や奈良理事長の説明で、川のなかの施設、山の斜面や木を守る施設のことも勉強しました。また小学生高学年以上や、一緒に参加している保護者などを対象に、治山床固工について、その目的と機能についても説明し、川のなかの施設について知る機会になりました。

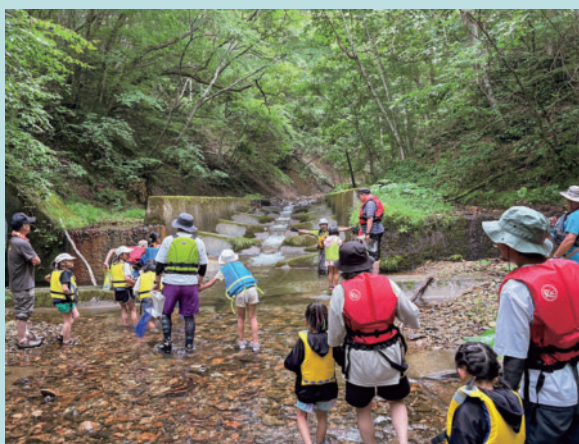


AM10:50 山を守る施設に取り付ける魚道を知る

引き続き、大浜隊長と奈良理事長から、治山床固工に設定された魚道についての説明がありました。

AM11:00 魚道のなかには魚がいるよ！

早速、魚道のなかをのぞいて観察したり、魚をつかまえてみました。また、川で安全を確保するために、ライフベストを着用した際に、身を守る流れ方についても伝えられました。



AM11:10 ささ舟づくり

次は恒例のささで作る小さな舟「ささ舟」づくり。ささ舟先生でもある米谷先生の指導で、親子でささ舟を作ります。



AM11:30 ささ舟競争、開始!

完成したささ舟を使って、ささ舟競争の開始です。スタート係は渡邊事務局と曹路地事務局。二人ずつ、左岸側と右岸側からそれぞれ2回ささ舟を流して、タイムで競います。



PM0:00 アイスクリーム券争奪〇×クイズ

ささ舟競争の結果集計を待つ間は、全員参加による川の環境についての〇×クイズ。クイズの出題者は奈良理事長。じゃんけん大会も行いました。





PM0 : 15 ささ舟競争、結果発表！

クイズとじゃんけん大会の後は、ささ舟競争の結果発表。入賞者には、プレゼンターの戸沼副理事長から、賞品の花火セットが贈られました。



PM0 : 25 つかまえたお魚たちとお別れです

最後につかまえたお魚たちを川に放す「お魚リリース式」。「元気でね」と声をかけて、お魚たちを川に戻してあげました。



PM0 : 30 おわりの挨拶

以上で「川の生き物観察会」は終了です。最後に戸沼副理事長から、おわりの挨拶をして閉会しました。

また、来年もお魚たちと会えることを祈って、解散しました。



4

活動報告

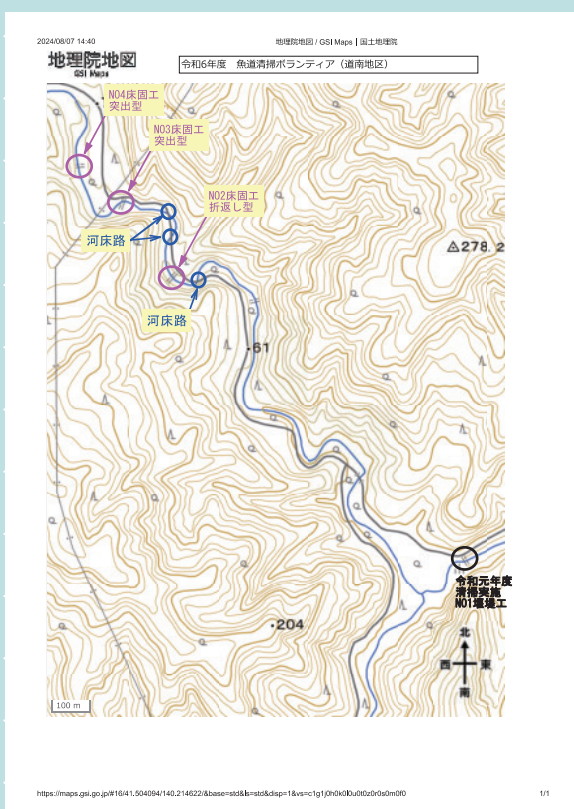
道南地区魚道清掃 ボランティアを実施し、 植樹も行いました



令和6年9月7日(土)、第17回道南地区魚道清掃ボランティアを実施しました。今年
は5年ぶりに福島町での開催となり、福島川水系檜倉川の床固工付き魚道3基を清掃し
ました。また、共催の一般社団法人北海道森林土木建設業協会松前支部の協力で、ミ
ズナラの苗木を提供いただき、植樹も実施しました。

総勢73名による植樹と清掃活動

福島町役場に午前9時30分に集合した参加者は総勢73名。奈良理事長の挨拶のほか、福島町の鳴海清春町長と渡島総合振興局産業振興部の佐藤康弘部長からも挨拶をいただき、作業開始となりました。



清掃した魚道の位置



鳴海町長

佐藤部長



植樹位置図



ミズナラの苗木をみんなで植樹



堰堤 No2 魚道清掃の様子



堰堤 No2 魚道清掃の様子（左）と清掃後



堰堤 No4 魚道清掃の様子と清掃後（左下）



閉会挨拶は渡島総合振興局西部森林管理室の橋本室長



閉会式の様子



●道南地区第17回 魚道清掃ボランティア参加者名簿

No	所属	出席者氏名	No	所属	出席者氏名	No	所属	出席者氏名
1	渡島総合振興局産業振興部	佐藤 康弘	27	防災地質工業株式会社	熊谷 操	54	中塚建設株式会社	中塚 徹朗
2	渡島総合振興局産業振興部林務課	宇野 雅巳	28	北栄測量設計株式会社	齊藤 文大	55		中塚 卓朗
3		小林 直樹	29	株式会社ノース技研	渡辺 潤	56		星井 撰郎
4		林 哲也	30		木元 三蔵	57		小川 浩一
5		川崎 陽斐	31		谷浴 慎平	58		龍川 慎
6		人見 健太	32		大坂 健嗣	59		十亀 謙太
7	渡島総合振興局東部森林室	山崎 康裕	33	株式会社東鵬開発	中谷 幸生	60		村田 亮介
8		坪田 康士	34		原田 雄一	61		鶴喰 晶
9		伊藤 孝幸	35		佐藤 宣仁	62		竹内 幸雄
10		下久根宣樹	36		吉田 勇氣	63		上田 忍
11		馬田 聖也	37		北藤 幸恵	64		中塚隆太郎
12		尾北 陸	38	丸協土建株式会社	築田 薫	65	株式会社エジソンブレイン	奈良 哲男 (理事長)
13		加賀田大翔	39		若山 忍	66		渡邊 拓也 (事務局)
14	渡島総合振興局西部森林室	橋本 文彦	40		浅間 浩志	67		松本 美穂 (事務局)
15		田代 武司	41	株式会社林組	林 政輝	68		鍵 将悟 (事務局)
16		山下 恭貴	42		伊藤 公彦	69		新保 博光
17		藤原 悠斗	43		中澤 達郎	70		米谷 信一
18		其田 嶺音	44	三好建設工業株式会社	三好 博己	71		阿部 正彦
19		佐藤 勁	45	戸沼岩崎建設株式会社	鶴谷 聡	72		鈴木 達郎
20		一戸 洸佑	46		伊藤 浩	73		平澤 遼叶
21	福島町	鳴海 青春	47		垣田 悟			
22		小鹿 一彦	48		富吉 正人			
23		福原 貴之	49	株式会社日本緑化	市川 淳一			
24		中村 伸也	50	安岡建設工業株式会社	安岡 一博			
25		工藤 有史	51	三協機械建設株式会社	木村 貴文			
26	北海道農林土木 コンサルタント株式会社	千葉 和夫	52		松村 潜志			
			53	株式会社龍川工業所	太田 隆男			

NPO法人 北海道魚道研究会 会員名簿

令和6年9月10日現在

法人会員 83 法人

(順不同)

法人名	住所
戸沼岩崎建設(株)	函館市湯川町2丁目21番2号
渡辺建設(株)	函館市鍛冶1丁目5番8号
三好建設工業(株)	函館市川上町563番地
中塚建設(株)	松前郡福島町字三岳73番地の1
(株)東鵬開発	函館市桔梗1丁目4番17号
丸協土建(株)	上磯郡木古内町字新道107-7
(株)北海道森林土木コンサルタント	札幌市中央区北4条東2丁目8番地6 札幌ユニオンハイツ
(株)エジソンブレイン	函館市赤川町522番地22
松本建設(株)	久遠郡せたな町北檜山区北檜山258番地
能登谷建設(株)	檜山郡厚沢部町本町108番地
(株)小林建設	檜山郡上ノ国町字大留151
北工建設(株)	久遠郡せたな町北檜山区豊岡114-7
齊藤建設(株)	函館市田家町15番12号
(株)森川組	函館市海岸町9番23号
(株)ノース技研	函館市昭和3丁目23番1号
(株)森林テクニクス 札幌支店	札幌市中央区北1条東1丁目4-1 サン経成ビル8F
(株)カイト	檜山郡上ノ国町字大留122番地
(株)菅原組	函館市浅野町4番16号
(株)サッポロ・エンジニアーズ	札幌市中央区大通西8丁目1番地1 朝日生命札幌大通ビル5F
(株)海老原建設	奥尻郡奥尻町字米岡177
(株)相互建設	亀田郡七飯町字桜町35番地
(株)高木組	函館市東雲町19番13号
北栄測量設計(株)	函館市深堀町11番22号
(株)北海道技術コンサルタント	札幌市東区苗穂町4丁目2-8
横関建設工業(株)	虻田郡倶知安町南1条西1-15
(株)松本組	函館市吉川町4番30号
(株)高橋建設	檜山郡厚沢部町新町193
北王コンサルタント(株) 札幌支社	札幌市中央区北10条西20丁目2-1
(株)イズム・グリーン	旭川市東6条4丁目1-18
(株)メイセイ・エンジニアリング 札幌支店	札幌市東区北11条東3丁目3-12 クボタビル3F
HRS(株)	小樽市勝納町8-39
東陽建設(株)	二世郡八雲町栄町13-2
岸本産業(株)	石狩市浜益区柏木87
(株)ズコーシャ 札幌支店	札幌市白石区南郷通1丁目北9番20号
(株)エコテック	札幌市中央区南1条東4丁目8-1 北海創成ビル6F
正栄建設(株)	函館市昭和2丁目31-10
防災地質工業(株)	札幌市北区新琴似7条15丁目6-22
野外科学(株)	札幌市東区苗穂町12丁目2-39
日本緑化中村(株)	樺戸郡新十津川町字弥生7番23
(株)日興ジオテック	旭川市神居2条18丁目2-12
(株)ルーラルエンジニア	札幌市北区北10条西3丁目 NKエルムビル
山洋建設(株)	標津郡中標津町東21条南6丁目17
寺井建設(株)	野付郡別海町別海130番地の18

※は賛助会員

法人名	住所
高玉建設工業(株)	野付郡別海町別海常盤町 5 番地
鈴木産業(株)	目梨郡羅臼町栄町 100
小針土建(株)	標津郡中標津町緑町南 2 丁目 1 番地 1
松谷建設(株)	北見市留辺蘂町旭北 41 番地
(株)ケイジー技研	札幌市中央区南 3 条西 13 丁目 320
中村興業(株)	標津郡中標津町東 32 条北 1 丁目 2 番地
北海道キング設計(株)	札幌市南区澄川 2 条 1 丁目 4 番 11 号
(株)菅原組	磯谷郡蘭越町昆布町 134-48
藤信建設(株)	虻田郡倶知安町北 1 条西 2 丁目 15 番地
幌村建設(株)	日高郡新ひだか町三石蓬栄 126
小川建設(株)	目梨郡羅臼町湯の沢町 12 番地 45
(株)シン技術コンサル	札幌市白石区栄通 2 丁目 8 番 30 号
近藤建設(株)	函館市神山 1 丁目 17 番 1 号
(株)東亜エンジニアリング 函館支店	函館市青柳町 15 番 19 号
国土防災技術北海道(株)	札幌市中央区北 3 条東 3 丁目 1-30
丹羽建設(株)	枝幸郡浜頓別町大通 8 丁目 20 番地
明治コンサルタント(株)	札幌市中央区南 7 条西 1 丁目 第 3 弘安ビル
(株)開発調査研究所	札幌市豊平区月寒東 4 条 10 丁目 7-1
(株)工藤組	函館市石川町 169 番地 7
(株)アイネス	札幌市中央区南 2 条東 2 丁目 7-1 第三 NED ビル
北王プラフォーム(株)	札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11
共和コンクリート工業(株) 函館支店	函館市五稜郭町 1 番 14 号 五稜郭 114 ビル
(一社)北海道森林土木建設業協会 ※	札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 1 林業会館 3F
タカ企画(株)	小樽市銭函 3 丁目 23 番地 174
和光技研(株) ※	札幌市西区琴似 3 条 7 丁目 5 番 22 号
共和コンサルタント(株)	札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11
(一社)北海道治山林道協会 ※	札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 1 林業会館 3F
新栄コンサルタント(株)	旭川市神楽 5 条 10 丁目 1 番 29 号
北海道農林土木コンサルタント(株)	札幌市東区北 24 条東 3 丁目 3 番 10 号
會澤高圧コンクリート(株)	札幌市東区苗穂町 12 丁目 1-1
吉建設(株)	茅部郡鹿部町字鹿部 45 番地
(株)不動テトラ 北海道支店	札幌市中央区北 1 条西 7 丁目 3 北 1 条大和田ビル
日特建設(株) 札幌支店	札幌市中央区北 1 条西 10 丁目 1-5 UD 札幌北 1 条ビル 7F
(株)林組	爾志郡乙部町字緑町 243-2
(株)ビバリー設計事務所 ※	札幌市白石区東札幌 4 条 6 丁目 4 番 12 号
札幌マテリアル(株) ※	札幌市豊平区月寒西 1 条 9 丁目 1-1-101
アークジョイン(株)	函館市西桔梗町 589 番地 44
内外エンジニアリング北海道(株)	札幌市中央区南 1 条東 1 丁目 3 番地 パークイースト札幌
道東建設工業(株)	厚岸郡厚岸町港町 3 丁目 109 番地
アサヒ産業(株)	大阪府枚方市東香里元町 28-18

個人会員 20 名(名簿省略)

随時受付中

当会では、会員を募集しています！

NPO 法人 北海道魚道研究会では、「正会員」として、一緒に活動・運営をしていただける個人、法人（団体）、または「賛助会員」として当会活動をご支援いただける個人、法人（団体）を随時募集しております。

	正会員	賛助会員
会員制度	総会での議決権を持ち、NPO 運営活動に直接的にご参加いただけます。 会報誌：年 2 回 1 冊 / 回：個人 5 冊 / 回：法人 魚道データベースシステム： フル利用（現在整備中）	会報誌及びセミナー・イベント等のご案内を優先的にご送いたします。 会報誌：年 2 回 1 冊 / 回：個人 1 冊 / 回：法人 魚道データベースシステム： 限定利用（現在整備中）
個人	入会金：5,000 円 / 1 口 年会費：5,000 円	入会金：3,000 円 / 1 口 年会費：3,000 円
法人（団体）	入会金：30,000 円 / 1 口 年会費：30,000 円	入会金：10,000 円 / 1 口 年会費：10,000 円

入会をご希望の方は入会申込書をお送りいたします。

事務局 **TEL 0138-83-1172**（株式会社エジソンブレイン内）

または、**E-mail gyodo-jimu@edisonbrain.jp** までご連絡ください。

一昨年の
現地魚道見学会
サンルダム周辺の魚道
(下川ベンケ川魚道)



北海道魚道研究会
ホームページ

北海道魚道研究会 会報 Fishway 2024 no.19

発行/NPO 法人 北海道魚道研究会（株式会社エジソンブレイン内）

〒041-0804 北海道函館市赤川町 522-22 TEL 0138-83-1172 FAX 0138-83-1162 <https://gyodo.jp>

発行者/奈良哲男 編集/渡邊拓也（編集担当） 表紙イラスト/曹路地琴乃 印刷/株式会社アイワード

発行日/2024 年 10 月 10 日